

○藤川政人君 是非、全力でトップセールス等々、進めていただきたいと思います。

そこで、一つ、リニア中央新幹線については、やはり経済効果が名古屋―品川間開通の一・四倍とも言われる大阪までの一気通貫の話もございます。大阪経済界からは関西が残されるという懸念も出ておりますが、ここで太田大臣に、大阪延伸に係る見解及び今後の見通しを伺いたいと思います。

○国務大臣（太田昭宏君） リニア新幹線、最速で東京―名古屋間四十分、劇的に流れを変え、大阪まで一時間強という形になります。

これは、この事業は、JR東海が民間企業として経営の自由や投資の自主性の確保を貫徹することを大原則としまして、全額自己負担で整備するとの意向を受けまして建設が指示されたという経緯がございます。JR東海はこのような前提に基づいて、同社の財務や現場の工事の見通しを踏まえまして、東京―名古屋間の開業目標を二〇二七年、大阪までを平成五十七年と、このように設定をしているところであります。

これが、東京―大阪間同時開業あるいは前倒しという大変大きな要請があり、要望があるということは十分承知をしています。しかし、本件に関しましては、現在の建設主体でありますJR東海を考え方をよく踏まえながら考えていかなくてはならない、このように思っているところでございます。